

日野市立平山中学校 令和7年度学校経営計画

1 体を育てる力の向上

(1) 運動する機会の増加

- ①朝、昼休み、放課後の時間、部活動等を通して運動する機会を増やす。
- ②部活動及び地域スポーツの一層の活性化をめざし、地域の人たちとの交流を通じた人間性を育み、自己有用感と自己肯定感を高める。

(2) 健康な体づくりの促進

- ①望ましい食習慣や健康な体づくりの指導を充実させ、基本的な生活習慣の基盤を整え、自律心、調整力を育む。
- ②感染症予防に関する取組やがん教育、歯科講話などを推進し、健康の維持・増進に努めさせる。

2 豊かな人間性の育成

(1) 挨拶、コミュニケーションの推進

- ・生徒会が主体となった自治活動を推進し、挨拶をはじめ人との関りを大切にす豊かな人間関係を築いていく。

(2) 体育祭・合唱祭等の充実

- ・生徒が協力して取り組み、感動する行事を実施し、所属感・連帯感を高める。

(3) 生徒会活動委員会活動の充実

- ・生徒会が主体となって企画を立て全校で取り組む行事や各種委員会が企画をした取り組みを充実させ、主体的に取り組む姿勢を育成する。

(4) 道徳教育の充実

- ・考えを深めさせる授業を充実させ、総合的な学習の時間を中心とした安全教育や防災教育との一層の関連を図る。

(5) SDGsの教育の充実

- ・日野市の学校教育基本構想における育てたい生徒の資質・能力に準じ、自然を愛し、社会貢献できる精神を育てる。

3 学ぶ力の定着

(1) 授業改善の推進 【『学びの変革』プロジェクトの実践】

- ・主体的・対話的で深い学びの工夫、個別最適な学び及び協働的な学びの充実を図るための授業改善、ICTを活用した授業を通して情報モラルやデジタルシチズンシップへの資質を育むための授業づくり、探究的な学びや課題解決力を身に付けさせるための授業の工夫などの校内研究（年5回）を推進し、分かる授業づくりをめざす。

(2) タブレットPC・図書館を活用した学習の推進

- ・授業中の調べ学習や対話的な学習等にタブレットPCや学校図書館を積極的に活用し、創造的な活動を行い、思考力・判断力・表現力を高める。

4 安全・安心の推進

(1) 命を大切にする取組みの推進

- ・SOSの出し方、道徳授業地区公開講座における取組との一層の関連を図り、生命尊重・自他尊重の精神を育む。

(2) いじめの防止

- ・学校いじめ対策委員会を中心に、いじめの防止・早期発見・早期解決を図るとともに、生徒自らが、いじめを絶対に許さない環境を醸成する活動を推進する。

(3) 支援委員会の活性化

- ①特別支援教育コーディネーターを中心として、かしの木シート・個別指導計画を活用するとともに、個別指導計画作成のためのプロセスの見直しを図り、個の特性に応じた特別支援教育の充実を図る。
- ②学校に来られない生徒に対し、家庭訪問や面談を通して理解を深めるとともに、毎週開催している支援委員会で、スクールカウンセラー、家庭と子供の支援員、わかば教室、スクールソーシャルワーカー、エールなどと連携し支援体制を充実させる。

(4) 安全指導の充実

- ・セーフティー教室（情報モラル教育）や防犯教室等を実施し、危険の回避、SOSを発信する能力を身に付けさせるとともに、避難訓練の充実・防災訓練等の参加を通して他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を育てる。

(5) 安全・安心な環境の維持

- ・安全点検日を設定して校内の整理整頓や様々な事故防止に努め、落ち着いた環境整備に努める。

(6) 働き方改革の推進

- ・定時退勤日の設定やICTの活用により業務の効率化を図り、教職員の働き方改革を推進する。

5 コミュニティスクールの推進

学校運営協議会を立ち上げ、組織づくりを行い、地域と連携した活動を行う。

(1) 学習支援部会

- ・放課後自習教室（SSR）やポップコーンタイムの機会充実、支援員の充実を図る。検定試験（漢字・数学・英語）の実施する。

(2) 地域連携部会

- ・地域防災や被災した人の話を聞く機会を実施し、地域に開かれた学校を目指し、自己有用感や社会貢献意欲を育てる。また、地域行事地域の一人としての誇りを育てる